



2016 親子わくわくチャレンジ教室・実施レポ 平成 28 年 9 月 22 日発行

きいて うたって たのしんじゃおう

National Institution For Youth Education
地方法政大・国立青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」



主催：
TOSS 南国港 free-way

平成 28 年 9 月 18 日 (日) 13:30 より、香南市野市町の佐古防災コミュニティセンターにて、三世交流イベント「きいて うたって たのしんじゃおう」が開催され、幼・児童 9 名、保護者 8 名、一般 4 名、事務局 10 名 合計 31 名が、楽しいひと時を過ごした。

9 ヶ月の小さい赤ちゃんから、70 歳以上の高齢者まで、幅広い年齢層で、身近な遊びで日本一をめざすチャレンジ大会を通して交流し、終始、笑顔の活動となった。後半は、前半の疲れを癒すかの如く、ピアノの連弾、フルート演奏に耳を傾けしっとりとした時間を味わいながら、最後の曲は、参加者も巻き込んで、手話や歌唱、ハンドベルを使って、みんなで合奏となった。

合奏中は、あたたかい空気が会場中に広がり、小さいお子さんからは自然に「ありがとう」という声が届けられた。参加者・主催者の心と心がつながった幸せいっぱいの中、イベントは無事、終了された。

こんにちは！！♪あなたがたどこさ♪で お手合わせ



「こんにちは～！！」
「あなたがたどこさ～ひごさ、」
「さ」で、手拍子しましょう！！
「あなたがたどこさ、ひごさ……」



オープニングは、明るく楽しくわらべ歌に合わせておてあわせで、はじめた。「さ」の手拍子がどんどん躍動的になり、「さ」ごとに人を違えて、タッチする。よって会場に集まった方の顔を知ることができる。



会場は一気に、アットホームな雰囲気包まれた。ここで主催者 TOSS 南国港 free-way の代表である、藤崎富実子氏より、「楽しんで帰ってください」と一言、ご挨拶をいただいたあと、次のプログラム、チャレンジ大会へと進んだ。

いっぱいあそんで！ 笑顔いっぱいのチャレンジ大会

ご当地「土佐のはしけん箸集め」

土佐 (高知) には、昔、お座敷遊びの一つ。「はしけん」という遊びがある。この度、こどもから大人まで、手軽に楽しめる遊びとして改良し、ご当地の遊びの種目として、日本一をめざす「土佐のはしけん箸集め」を考案、実施した。

挑戦方法は、

1. 一対一で、相手が箸を何本持っているかを当てよう。
2. 箸が相手に見えないよう、両手を後ろに廻し隠して持つ。
3. 相手と目があったら、「いらっしやい」の掛け声で勝負する。「いらっしやい」と先に声をかけた人が、箸を隠し持った片手を出す。隠して持てる本数は 0～3 本まで。
4. 「いらっしやい」を言われた人は、相手の本数を予想し、箸を片手に隠し持つ。隠して持てる本数は 0～3 本まで。
5. 予測した本数 (0～3 本) を言って、お互い同時に手首を返して、隠し持っていた箸を見せ合う。
6. 言った本数が当たっていたら、相手から 1 本もらう。当たっていない場合は引き分けとし、そのまま勝負は終了。
7. 違う対戦相手を探して次の勝負をする。
8. 2 分間で集めた箸の本数が記録。

スタッフ、リハーサル中



この度、日本初そして、1 位の記録保持者となったのは・・・
40 代主婦 (保護者)

やはり 高知は女性が強い「はちぎん」！



笹岡倫子さん。記録 6 本。おめでとう！！

豆つまみ皿うつし



サイコロ1出し



各ブースに行って遊んじゃおう！！



ご当地チャレランを終えて、会場の遊び心はさらにヒートアップ。チャレラン上級指導員井原尚風氏の軽やかでユニークな声がけで、子どもから大人まで、記録更新に夢中になって遊んだ。2歳の女の子に、自分で遊びたいブースを選んで、スタッフと積極的にコミュニケーションをとり遊びを楽しんでいた。

洗面器お手玉投げ



カップタワー



大会記録：

- ・豆つまみ皿うつし：A 20個、B 33個、C 23個、E 56個
- ・さいころ1出し：A 2回、B 2回、C 2回、E 4回
- ・洗面器お手玉投げ：A 120点 B 160点、C 50点、E 200点
- ・カップタワー：A 24.94秒、B 18.02秒、C 23.5秒、E 12.84秒

(A…幼児の部、B…小学校1～3年の部、C…小学校4～6年の部、E…中学生以上、大人の部)

ナトゥールのピアノ連弾コンサート



思いっきり遊んだ後は、美しいピアノの音色がしっとりした雰囲気の会場へと導いた。素敵なピアノ連弾を聞かせてくれたのは、県下で大活躍しているピアノデュオ「ナトゥール」のお二人。第7回横浜国際音楽コンクール2台ピアノの部第1位。第14回大阪国際音楽コンクール2台ピアノ部門第2位（1位なし）その他数々のコンクールに出場されている程の実力派ピアニストのお二人。



しかしこの日は、チャレラン大会のスタッフをしたり、初対面の参加者やスタッフに話したり、その人柄の気さくさが、会場の皆さんの心をつかむ演奏のスパイスのようだ。参加者皆さんのうっとりとした姿が印象的だった。

最後の曲では、子どもたちにはハンドベルで、参加してもらい、「ともだちになるために」を手話、歌唱でみんなで合奏を楽しんだ。会場は、一気にあたたかい空気に包まれ、心一つに感動のままに、素敵な時間が流れて終了した。



参加者からの声

- ◎もっと沢山の方が来てもらえたらよかったですね。それこそ野市とか赤岡とか近くの学校に配布（チラシ）をして集客されたら…とってしまいました。（40代）
- ◎いろんなことにチャレンジして評価されることで、何事にも意欲的に取り組む姿勢が育成できたと思います。母が側にいなくても自分でブースで楽しんでいる娘、成長も感じました。プロの生演奏も聴けて贅沢な一時でした。（40代）
- ◎とても楽しく素晴らしい企画でした。（高知市在住）
- ◎初めての参加でしたが、とても楽しめました。いろいろな内容で、子供から大人まで楽しかったです。（40代）
- ◎ジャンケン列車で優勝できてよかったです。島根県の湯野神社でお参りしてきていいことがありました。またチャレンジしています。（50代）
- ◎カップタワー楽しかったよ。ひょうしょうじょうをたくさんもらえてよかった。頑張っている姿を見られて親もうれしかったです。（40代）
- ◎こういうイベントには初めて参加しました。子どもも私も大変楽しい思い出ができてよかったです。また次回も参加したいです。（30代）
- ◎チャレランが楽しかったようです。カップタワーがお気に入りです。バタバタと動きまわってすみませんでした。ハンドベルうれしそうでした。（30代）
- ◎大人も子どもも楽しめました。ありがとうございました。（30代）

アンケートより

子ども回答（7名）

- ・とても楽しかった 5名 71%
- ・楽しかった 1名 14%
- ・まあまあ 1名 14%
- ・また参加したい 7名 100%

大人回答（6名）

- ・とても楽しかった 2名 33%
- ・また参加したい 2名 33%

Q 申し込みいただいた理由

- ・娘が行こうかな？と言ったので。
- ・楽しそうだったから
- ・面白そうだったから
- ・楽しそうだったから
- ・子どものためになりそうだったから
- ・お誘いをいただいたから
- ・子どもが行ってみたいと言ったから。

この日の親子での体験を詩にしました。

(子) 豆うつし またやりたいな たのしいな (親) 上手におはして めざせ新記録

